



# グローバル人材の育成に向けた 外国語（英語）教育について

令和7年度（2025年度）9月総合教育会議資料  
学校教育課

# これまでの本市の英語教育の取組について

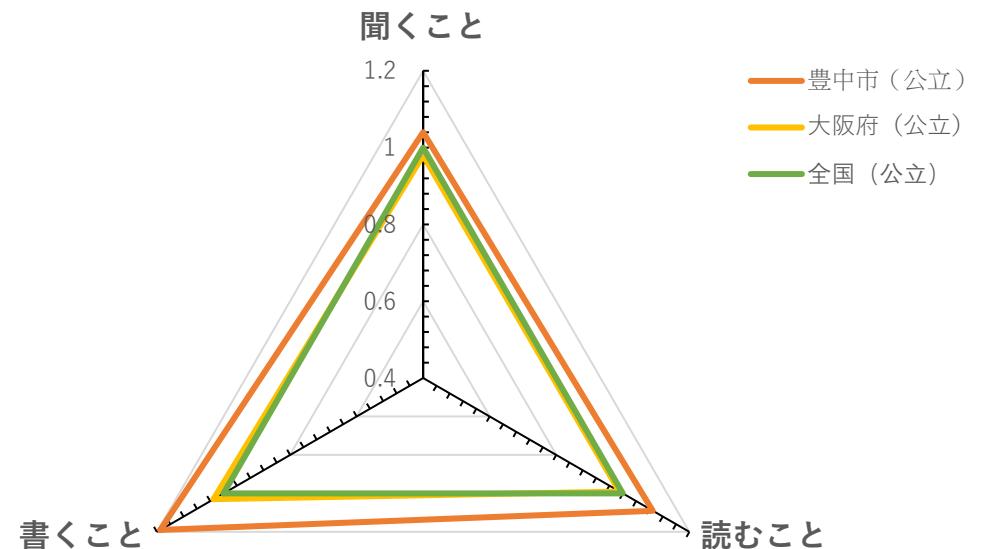
	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
AET (英語指導助手) 派遣事業	<p>【配置人数】 18名 ・各中学校区に 1名ずつ</p> <p>【授業時間数】 小5,6年 5時間 中学校 10時間</p> <p>【委託額】 23,706,648円</p>	<p>【配置人数】 21名 ・各中学校区に 1~2名ずつ</p> <p>【授業時間数】 小3,4年 3時間 小5,6年 7時間 中学校 13時間</p> <p>【委託額】 38,864,448円</p>	<p>【配置人数】 28名 ・中学校 18名 ・小学校 10名</p> <p>【授業時間数】 小3,4年 4時間 小5,6年 9時間 中学校 20時間</p> <p>【委託額】 56,370,030円</p>	<p>【配置人数】 28名 ・中学校 18名 ・小学校 10名</p> <p>【授業時間数】 小3,4年 6時間 小5,6年 14時間 中学校 20時間</p> <p>【委託額】 56,370,030円</p>	<p>【配置人数】 28名 ・中学校 18名 ・小学校 10名</p> <p>【授業時間数】 小3,4年 6時間 小5,6年 14時間 中学校 20時間</p> <p>【委託額】 62,000,000円</p>	<p>【配置人数】 30名 ・中学校 17名 ・小学校 13名</p> <p>【授業時間数】 小3,4年 14時間 小5,6年 28時間 中学校 49時間</p> <p>【委託額】 138,600,000円</p>	<p>【配置人数】 33名 ・中学校 20名 ・小学校 13名</p> <p>【授業時間数】 小3,4年 14時間 小5,6年 28時間 中学校 49時間</p> <p>【委託額】 138,600,000円</p>	<p>【配置人数】 32名 ・各中学校区に 1~2名ずつ配置</p> <p>【授業時間数】 小3,4年 14時間 小5,6年 28時間 中学校 49時間</p> <p>【委託額】 138,600,000円</p>	
外国語担 当者会・ 研修会 * 1	<p>【実施回数】 小学校対象 2回 中学校対象 3回</p>	<p>【実施回数】 小学校対象 5回 中学校対象 2回</p>	<p>【実施回数】 小学校対象 4回 中学校対象 2回</p>	<p>【実施回数】 中学校対象 1回</p>	<p>【実施回数】 小中対象 5回 英語公開授業 1回</p>	<p>【実施回数】 小中対象 5回 英語公開授業 2回</p>	<p>【実施回数】 小中対象 5回 英語公開授業 2回</p>	<p>【実施回数】 小中対象 5回 英語公開授業 2回</p>	
*1 小中学校の外国語教育担当者を対象として、大阪府からの伝達事項の理解促進や教員間の情報交換、教員の指導力向上を目的に実施									
小学校 高学年教 科担任制 (英語)					<p>【専科指導】 3年 6校, 4年 7校 5年11校, 6年14校 延べ38校</p> <p>【交換授業】 3年 3校, 4年 3校 5年12校, 6年13校 延べ31校</p>	<p>【専科指導】 3年11校, 4年12校 5年21校, 6年22校 延べ66校</p> <p>【交換授業】 3年 0校, 4年 3校 5年10校, 6年10校 延べ23校</p>	<p>【専科指導】 3年14校, 4年16校 5年22校, 6年22校 延べ74校</p> <p>【交換授業】 3年 0校, 4年 1校 5年15校, 6年10校 延べ26校</p>	<p>【専科指導】 3年11校, 4年14校 5年16校, 6年17校 延べ58校</p> <p>【交換授業】 3年 1校, 4年 1校 5年12校, 6年14校 延べ28校</p>	<p>【専科指導】 3年による英 語専科講師配 置校数】 * 2 非常勤講師2校 に配置</p>
*2 高学年教科担任制実施に当たって、国が推奨する4教科（算・理・体・英） を進めるために市費で常勤講師を配置したもののうち英語専科講師配置校の数 値を記載しています。市費講師数_R4：24人、R5：39人、R6：38人					<p>【市費による英 語専科講師配 置校数】 * 2 非常勤講師5校 に配置</p>	<p>【市費による英 語専科講師配 置校数】 * 2 常勤講師13校に 配置</p>	<p>【市費による英 語専科講師配 置校数】 * 2 非常勤講師10校 に配置</p>	<p>【市費による英 語専科講師配 置校数】 * 2 常勤講師18校に 配置</p>	

# 全国学力・学習状況調査 英語調査結果の本市の状況

全国学力・学習状況調査での英語調査：H31に始まり、R5年度は2回目の実施

どの領域でも全国平均を上回り、  
特にR5年度は「書くこと」「話すこと（発表）」においては、大きく上回っていた

H31 全国学力・学習状況調査 英語領域別調査

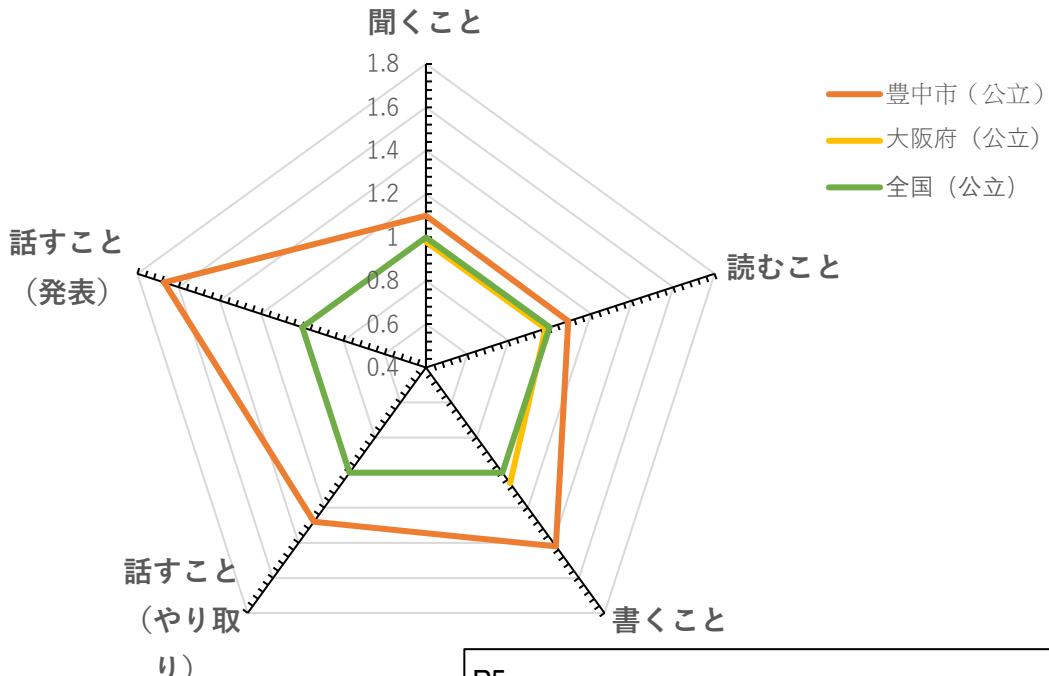


H31			
	豊中市（公立）	大阪府（公立）	全国（公立）
聞くこと	1.04	0.98	1
読むこと	1.09	0.99	1
書くこと	1.19	1.03	1
話すこと			1

※ 全国平均正答率を100%とする

※H31「話すこと」に関する問題の結果は、  
全国の平均正答数及び平均正答率を別に集計し  
「参考値」として公表され、都道府県別、  
指定都市別の公表は行われず

R5 全国学力・学習状況調査 英語領域別調査



R5			
	豊中市（公立）	大阪府（公立）	全国（公立）
聞くこと	1.10	0.98	1
読むこと	1.09	0.98	1
書くこと	1.42	1.06	1
話すこと [やり取り]	1.28		1
話すこと [発表]	1.67		1

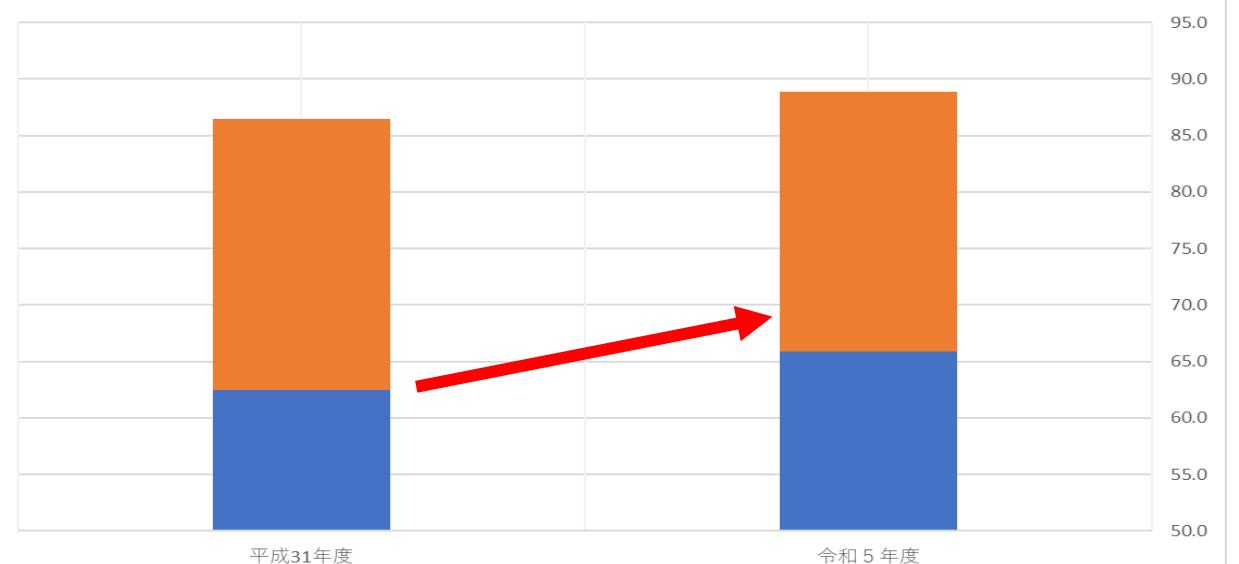
※ 全国平均正答率を100%とする

# 全国学力・学習状況調査における本市生徒質問紙調査 経年変化（外国語関連）

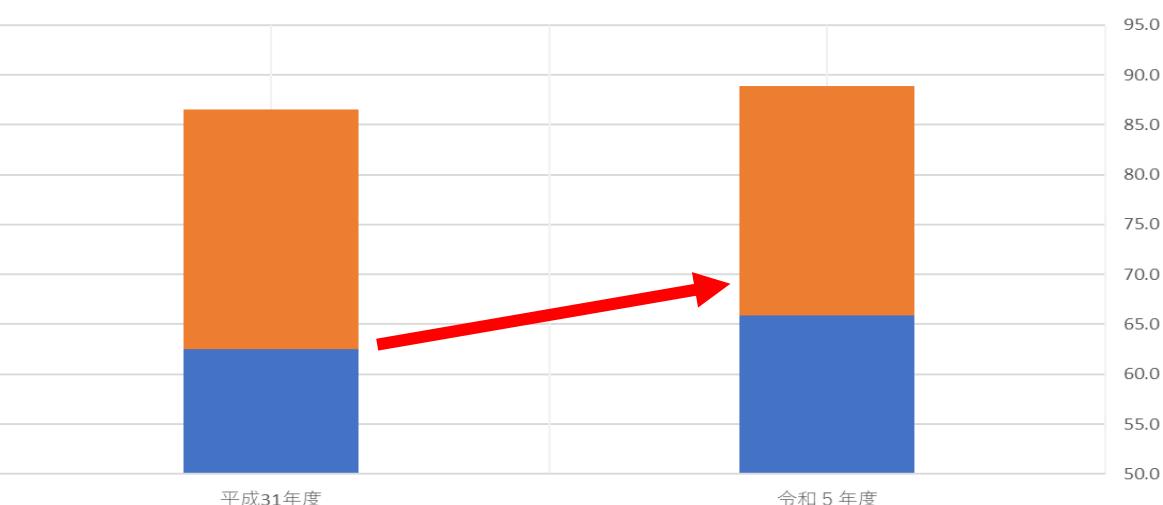
(グラフ内の青帯は強肯定、オレンジ帯は弱肯定)

即興で伝える活動や、スピーチ・プレゼン、問答や意見を述べ合う活動が、AETを活用することで活発に行えている

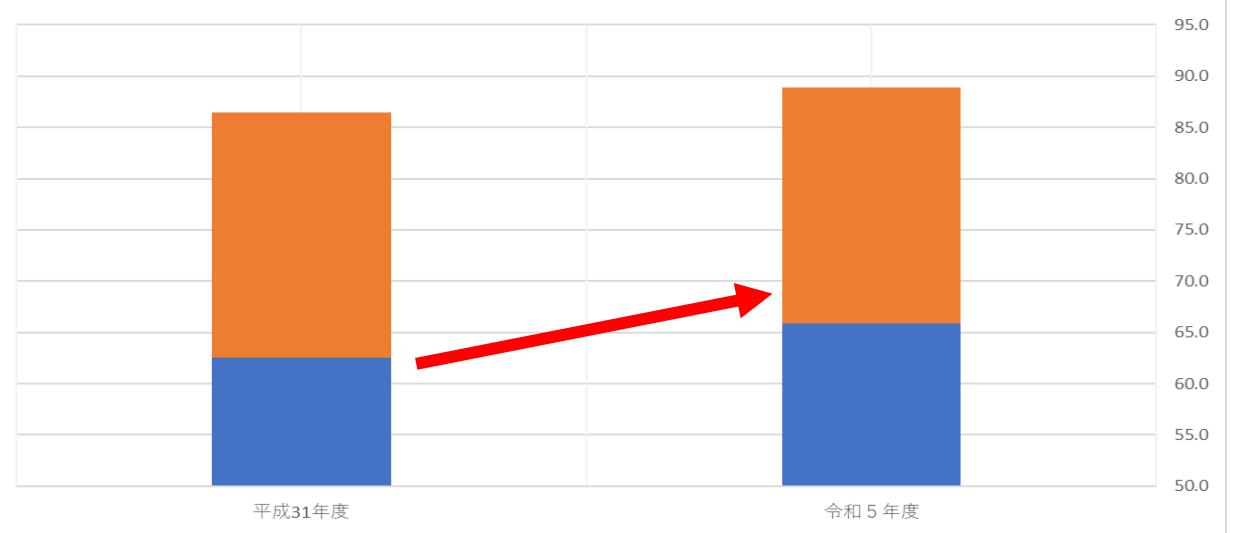
英語の勉強は大切だと思う（肯定）



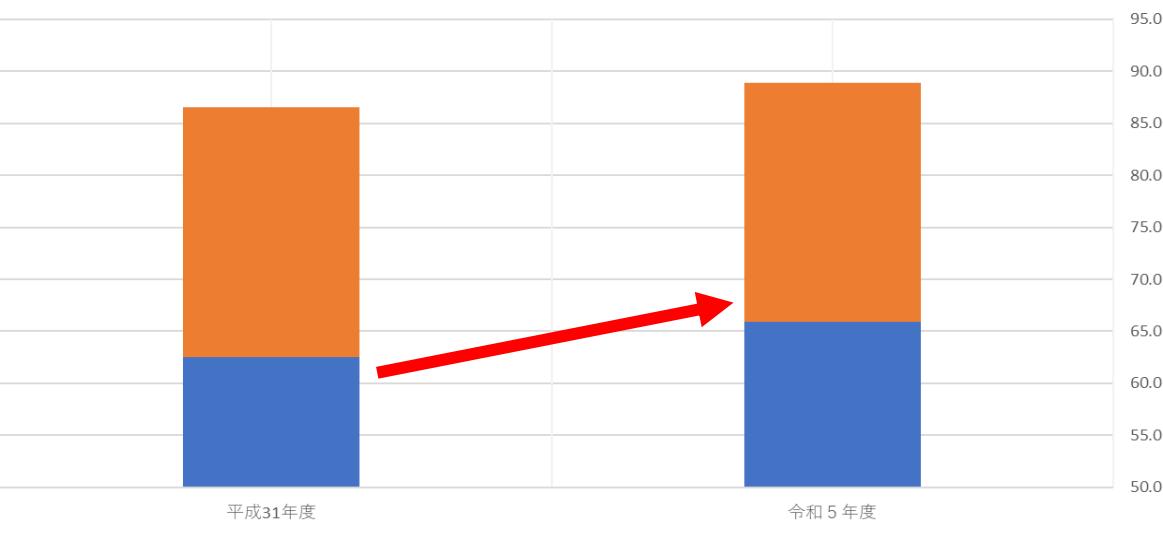
原稿などの準備をすることなく、（即興で）自分の考え方や気持ちなどを英語で伝え合う活動が行われていた（肯定）



スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動が行われていた（肯定）



聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする活動が行われていた（肯定）



## 学力調査で見えた豊中の強みをさらに伸ばす

- 極めて強い領域
- 「書くこと」
- 「話すこと（発表）」
- 強い領域
- 「聞くこと」
- 「読むこと」
- 「話すこと（やり取り）」

【参考（国が示す全国的な英語教育の課題）】（文科省のR8概算要求資料から引用）

「話すこと」「書くこと」に課題があるとし、「我が国の英語教育には、  
①コミュニケーション総量の少なさ②学ぶ動機付けの弱さ  
③家庭学習の時間確保④即時フィードバック⑤既習事項の定着  
に課題がある」としている。このため、今後これらの課題に対応する事業を展開すると考えられる。

## オンライン・ブレンディッド授業 実施事例

オンラインを融合した「深い学び」の実現

株式会社ハートコーポレーション

## オンラインを融合した小学校6年生での授業

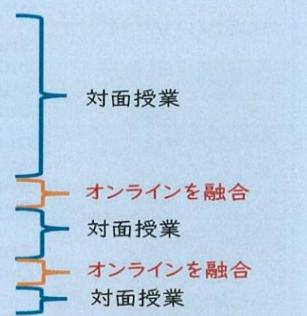
東京都内の小学校6年生4クラスにて、通常の授業にオンラインを融合させた授業が行われました。「世界と日本の夏休みの過ごし方」をテーマに実施されました。Activityで、児童はオンライン越しのALTとやり取りをし、授業者は「話すこと(やり取り)」の領域を見取りました。児童たちは、これまで十分慣れ親しんできた表現を使い、初めて会うオンラインALTたちの前で、目を輝かせながら笑顔で楽しいコミュニケーション活動を行いました。教室内がコミュニケーションで溢れる効果的な授業が行われました。

**6年生**  
【単元】NEW HORIZON Elementary⑥  
Unit4 Summer Vacation in the world  
【目標】世界と日本の夏休みの過ごし方を比べよう

## 【展開】

1. Warm up (2mins)  
-Greeting
2. Review (3mins)  
-went, ate, saw, enjoyed, had  
-「What did you ~?」
3. Today's goal (1 min)  
-「オンラインALTに夏休みの過ごし方について、発表しよう」
4. 【Online】Activity① (12mins) オンラインALTとのやりとり
5. 中間指導 (5mins)  
-Asking students what is difficult.  
-Practice
6. 【Online】Activity② (12mins) オンラインALTとのやりとり
7. Closing and Reflection (5mins)

1時間目：8:40~9:25	6年2組
2時間目：9:35~10:20	6年3組
3時間目：10:30~11:15	6年4組
4時間目：11:25~12:10	6年1組



## 【オンライン・ブレンディッド授業の流れ】※対面授業で学んだ表現を使って、オンラインALTとのやりとりを行います



## 【ポイント】

オンラインALTへの指示内容の「Please repeat what students say to affirm their answers.」を、オンライン・ブレンディッド授業1回目、2回目、3回目(今回)で繰り返すことで、児童たちもそれを真似して、リアクションができた。

Student: I enjoyed camping.

Online ALT: Oh, you enjoyed camping. Nice!

....

Online ALT: I ate curry and rice.

Student: You ate curry and rice. Good!

## 通常の対面教育の利点とオンライン教育の利点を融合(ブレンド)しました

## オンラインALTの配置図面



## Activityの様子



# 【参考】R8文部科学省概算要求（英語教育）

(出典) 文科省HPより。赤枠は事務局が追記。

## 小・中・高等学校を通じた英語教育強化事業

### 現状・課題

- ① 令和6年度全国学力・学習状況調査の結果、令和3年度比で有意な低下（「話すこと」「書くこと」に課題）
- ② 我が国の英語教育は、コミュニケーション総量の少なさ、学ぶ動機付けの弱さ、家庭学習の時間確保、即時フィードバックや既習事項の定着等が課題
- ③ これまでの英語教育には児童生徒が住む地域の魅力発信という視点がなく、地方創生の観点からも課題  
→生成AIの活用には大きな可能性があるが、取組は緒についたばかり  
(練習量の飛躍的増加、動機付け強化、即時フィードバック、地域の魅力発信に資するコンテンツの作成)

令和8年度要求・要望額  
(前年度予算額)

7億円  
2億円



- 経済財政運営と改革の基本方針2025  
(略) AIの活用や地域の魅力発信等を通じ、英語教育を推進する。
- 地方創生2.0  
(略) AI活用による英語での地域の魅力発信 (略) に取り組む

### 事業内容

事業実施期間：令和3年度～

#### 1 AIを活用したグローバル人材育成のための英語教育強化事業 4.7億円 (0.3億円) [令和6年度補正予算 6億円]

- AIを活用したスピーキングやプレゼン等の練習量の飛躍的増加（家庭学習を含む）、英作文等への即時フィードバック
- 学習指導要領改訂を見据え、AIを活用した地域発信コンテンツの作成、それらを活用した英語による地域の魅力発信 等



件数・単価

事務局：1箇所 都道府県・市町村教育委員会、学校法人、国立大学法人等：22箇所程度

委託先

事務局：民間企業

#### 2 教師の英語力・指導力の向上のための実践的オンライン研修

0.4億円 (0.4億円)

- 第二言語習得理論等の科学的知見に基づく効果的な指導法について、ネイティブ講師等から学ぶ大規模オンライン研修を実施

件数・単価

2箇所  
×2,000万円

委託先

専門機関等

#### 3 専門機関等による専門人材育成・確保事業 0.1億円 (0.1億円)

- JETプログラムで来日した外国語指導助手(ALT)の資質・能力向上のための研修
- 英語以外の外国語に関する指導者の養成・確保のための講習や教材開発 等

件数・単価

3箇所  
×100~500万円

委託先

大学、都道府県・指定都市教育委員会、専門機関等

#### 4 学習指導要領に対応した外国語教育の条件整備・情報発信事業 1.5億円 (1.4億円)

- 小学校外国語活動教材「Let's Try！」の配布

### アウトプット（活動目標）

AIを英語等の授業で活用するモデルの構築  
→ 実施都道府県等  
教育委員会等の数 等

### 長期アウトカム（成果目標）

- ① 中学3年生でCEFR A1レベル（英検3級程度）以上、高校3年生でCEFR A2レベル（英検準2級程度）以上を有する生徒の割合
  - 中3：令和6年度 52.4% →**令和9年度 60%**
  - 高3：令和6年度 51.6% →**令和9年度 60%**

- ② 全ての都道府県・政令指定都市において、中学3年生でCEFR A1レベル（英検3級程度）以上、高校3年生でCEFR A2レベル（英検準2級程度）以上を有する生徒の割合を5割以上とする。
  - 令和6年度 未達あり →**令和9年度 全都道府県・政令指定都市にて達成**
- ③ 高校3年生でCEFR B1レベル（英検2級程度）以上を有する生徒の割合
  - 令和6年度 21.2% →**令和9年度 30%**

### 連携施策

英語専科教員の加配措置(3,000人)  
小学校英語教育の早期化・教科化に伴う専科指導に必要な教師の充実  
※上記に加え、外国語を含む小学校の教科担任制を推進するための加配措置により更に取組を充実

## その他参考資料



## 英語学習ツール BASE in OSAKA

AIによる音声自動採点 いつでも発音・スピーキングの練習!

### Point 1

音読した音声を発音精度や流暢さ  
などの観点で評価・採点を行います。



### Point 2

豊富な学習コンテンツを搭載  
英検®二次試験対策では  
質問に対しての自由回答を評価します。  
他にも、英単語やアルファベットの学習など



### Point 3

管理画面で児童の学習状況を一元管理  
・宿題配信機能  
　採点結果の一覧表示、児童の音声を再生可能  
・児童の学習履歴閲覧機能



## 実施校 (R7) : 小学校10校、中学校4校

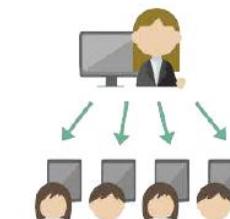
各校負担で実施 (学校教育活動費収金無償化事業  
(保護者負担費無償化) の対象)

## 学習コンテンツ一覧

学習コンテンツ	学習内容
単語	発音練習に取り組むことができます。お手本の音声・イラスト付き。各単語が使用されている例文を発音および採点をすることができます。
表現	小学校で学習する表現を音読みし、AIが採点を行います。
アルファベット	アルファベットの順番、音と文字の一致や大文字と小文字の使い分けに関する学習に取り組むことができます。
英検® 3級～5級	英検®の面接練習、質問に対しての自由回答をAIが評価します。 「面接練習」：字幕や解答例を表示することができ、受け答えの形式を練習することができます。 「模擬試験」：本番ながらの試験を体験することができます。

## 利用シーン

校内：  
朝学習や帯活動などで課題を配信、  
管理画面で進捗を確認できます。

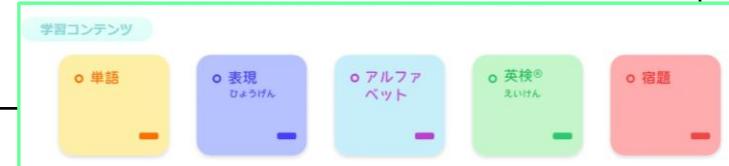


家庭学習（宿題）：  
発音やスピーキングの練習を実施、  
録音した音声やAIの採点結果は  
管理画面上に記録されます。



## 【授業での活用例】

- 授業中に、BASE in OSAKAを大型モニタに投影し、発音されたアルファベットが何かを答える問題を全員で考える
- 家庭学習として「宿題」に配信された問題を解く



## 【参考】

# 京都市立岡崎中学校「グローバルコンピテンスプログラム（GCP）」



## 『1年生 グローバルコンピテンスプログラム（GCP）が始まりました！』

今年度、1年生の「総合的な学習の時間」で取り組む「グローバルコンピテンスプログラム（GCP）」が、今日から始まりました。

これは英語を使った総合的な学習の時間で、この取組を通して、他者の視点や世界観を理解し、異文化の中で人々とオープンにコミュニケーションがはかれる力の育成を目指すものです。

初めて、50分オールイングリッシュの授業を受け、難しいと感じる場面もあったかと思いますが、どのクラスも真剣に話を聞き、時には楽しく講師の先生と会話をし、そしてペアやグループの仲間と話し合い活動を行っていました。

来月の参観日でもグローバルコンピテンスプログラムの授業を行う予定をしております。たくさんの保護者の方々の参観をお待ちしております。



京都市立岡崎中学校HP「学校だより」  
2025.4.23.19:54より引用